

へいわ博だより

長らくお待ちたせしました

八月中旬に 被ばく写真集

写真集美しい地球を「世界ヒバクシャの訴え」が、いよいよ今年八月中旬に発刊されます。いま編集の最終段階です。ぜひご期待ください！

「報告とお礼」まず、基金をお寄せ下さった全国の皆様からのご感謝を申し上げます。また、お待ちたせしましたこと、お許し頂きたいと存じます。内外の写真家、編集実務に参加された多くの方々のご努力と激励に支えられて、そしていま、必要最小限ではありますが基金がようやく集まり、発刊の運びとなりました。編集内容 およそ次の五章から成っています。

第1部、あの日・広島と長崎で、第2部、生きる『被爆者の半世紀』米軍

ホームページの趣旨

昨年十月からインターネット上に、私たちの会の美しいホームページ

「平和博物館」を開設しました。平和

への行動は、まず戦争の実相を知る

ことから始まります。過去の事実を追体験する場として開設しました。核兵器廃絶を願う、国境を

インターネット平和博物館

www.peace-museum.org

の広島の写真二九六枚を撮影場所の地図付きで分かり易く紹介しています。いま、夏へ向けて被爆翌日

に撮影された人々の記録第3部、核軍拡競争のなかで、第4部、平和利用の美名のかげに、第五部「世界ヒバクシャの叫び」地球が背負った半世紀の核時代とは何だったのか？どれほどのヒバクシャを生み出したことか？その「負の遺産」を包括的に描いて説得力のある一冊



となりました。日英対訳。体裁・写真枚数 A4変型判・約三〇〇頁／内外の協力写真家四十一人による収録写真三八〇点／特マツト紙・上製本。お願い、基金は、印刷製本実費と写真原稿料でギリギリの状況です。世界のヒバクシャに寄贈するための資金が不足しています。ぜひ周りの方々にご参加を呼びかけてください！（一〇一万三千円）

の長崎を写した山端庸介氏「広島当日の松重美人」の写真を追加準備中。活動や作品紹介のページもあります。NECの仲間

たちに拍手を！

今回も、一昨年ヒロシマ写真のデジタル修復をして、大反響を呼んだコンピュータ技術者たちのボランティア協力です。感謝と拍手を！

"EFFECTS OF THE ATOMIC BOMB ON H & N" 幻のフィルム日本語版完成！

日本で初めて 長編映画 録映画 『広島・長崎における原子爆弾の影響』白黒・二時間四十五分の日本語版が、平和博物館を創る会映画委員会の手で完成しました。全編完全復刻は日本で初めてのことで、この映画は日本映画社が一九四五年の被爆直後から翌年四月にかけて製作した歴史的な作品。当時アメリカ占領軍が英語版完成と同時に没収し、一九六七年返還された後は日本政府が公開を拒んできた。「幻のフィルム」でした。平和のための文化遺産が残せました。資金不足のためデジタルテープで作業し映画フィルムにはなっていないませんが、ビデオテープで貸し出し中。（広島編 長崎編のセットで二万円）